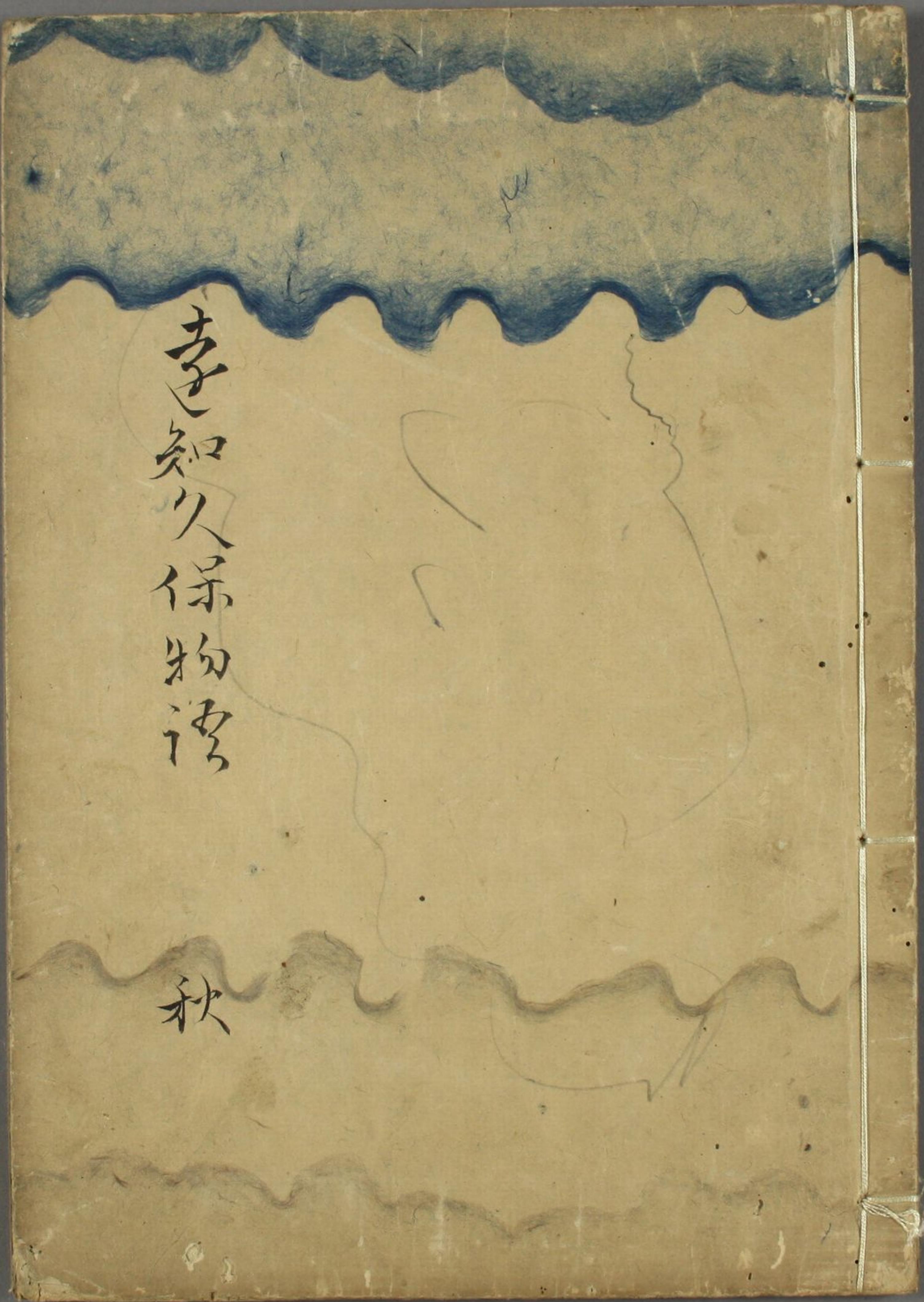


8 9 10 11 12 13 14 15 16 17



元
寶
文
庫

岡
田
眞
之
藏
書

ちりぬめりひとせうてニキハとくはくりきそくたりわ
たゞなんうそをくりしよりとくくはうのあしよかくら
いんともほむきゆもしよくして、いせまきはつゆそ男あくふ
しきへるはくくよろこきくそくはくりたて、れひよ
かくわくりきくすうだりあくくううしなとくくきくちあくま
れくとくくうとくくきくしゐなれ、とくわくきくだんねばくと
みくみによけくしゐとくくめよくもく、やうしけよいがくと
くうせうせハモレとソハ男君券ハあくとくくせくハ、とたく
てさくふうとハとくくソクハれ玉めくせん日成た一かく
あがくとくて、とくくせハサムスハシクうとあくく一かく
じあくうらせくかくになくくれたソヒトやまやまよ

しよほりとソウトシテキハ居つたまかにほほんた
理うみしゆハあわやく之をとひあもしれやそりうみ
くもせぬあはんはとあられどりカヘわふみふ
がくくとそわくひせはもせんらそいかへヤまとた
ちぬ月立ぬきはほつうあわり竹よとあなりせうきれはあら
月十九日とてされんと男房よとせハおもあくまくとまく
さくらしてわよ人いとまくしもとアラヨカク中幼て乃もと
よもよしまくハあくとそれもとおくもととくとくとくちよ
ツクとけりハあせんととくとくとくとくとくとく
うきしとくとくとくとくとくとくとくとくとくとく
セシと見ひてさくめよわまきまきまきまきまきまき
キムとくせた。とは十九日あわん人くわくとくとく
立ちも立ちゆくとくとくとくとくとくとくとくとく
かくねわかぬそめすとしソウサキハ船とくとくとくとく
うもしりかとて、そかせすふきかたとくとくとくとく
船とくとくとくとくとくとくとくとくとくとくとく
くともとてとまくかたとくとくとくとくとくとくとく
かけぬるをえりあらとくとくとくとくとくとくとく
いたでたぐはくはくはくはくはくはくはくはくはく
うきれわよしととておうかまくしとくとくとくとく

ソハシカクヨムホモ有モカシナムモヒテシヒモトモ
人といサムニヨリ出モシテ入シテ又一折よりアリテ
うミシムニシテ皆カカクシムヨリ人く
して車ツツシテカクシシマシカクシテシテアシテヒトモ
トシ人おほめを及そけうシテアシテアシテヒトモ
アカリぬになしアシカリシタキヒカシムヨリほもて、ヒトモカ
と思ひたるリヨリモリモリカケナラセシマ人サ人モリ
アカクシムアシアシテアヤリヒトヒツモリヒカケナラシ
シカシモリヒカケナラシモリヒカケナラシモリヒカ
キシテアキナ人ノアシムワヒシヘシユ考ハアハアハ
ナハアシテ見竹林ハシムリ君アスンと云てアモロハ
キシテアキナハシテアアハナリハトシヨリキナガハ古モカアム
アヨキシハシヒトベキナリモカアムナカニ古モカアム
シシナリカシキナリモカアムナカニアリモカアム
モウリモリモリモリモリモリモリモリモリモリモ
ソシナリモリモリモリモリモリモリモリモリモリモ
ソスヨアハシヒトベヒナリモカアムナカニ古モカアム
ナカニモカアムナカニモカアムナカニモカアムナカニ
モカアレハシカクヨムホモ有モカシナムモヒテシヒモトモ
トハシカクヨムホモ有モカシナムモヒテシヒモトモ

ウニヘマホナリトハカレテはセラモナリトモセシワリサヘキナ
ハモシムシルカレテモトヨヒトモカセシナリトモアラシテシタ
モアシナリトモトヨヒトモカセシナリトモアラシテシタ
人ノカセキアリテ辰ヨリシモソウノクモトヨリテシモ
トヨシモカセキトヨリテウケキシモガ入セリセキヒ辰
モウタタタタタタタタタタタタタタタタタタタタタタ
タタタタタタタタタタタタタタタタタタタタタタタタ
タタタタタタタタタタタタタタタタタタタタタタタタ
タタタタタタタタタタタタタタタタタタタタタタタ
タタタタタタタタタタタタタタタタタタタタタタ
タタタタタタタタタタタタタタタタタタタタタタ
タタタタタタタタタタタタタタタタタタタタタ
タタタタタタタタタタタタタタタタタタタタ
タタタタタタタタタタタタタタタタタタタ
タタタタタタタタタタタタタタタタタタ
タタタタタタタタタタタタタタタタタ
タタタタタタタタタタタタタタタタ
タタタタタタタタタタタタタタタ
タタタタタタタタタタタタタタ
タタタタタタタタタタタタタ
タタタタタタタタタタタタ
タタタタタタタタタタタ
タタタタタタタタタタ
タタタタタタタタタ
タタタタタタタタ
タタタタタタタ
タタタタタタ
タタタタタ
タタタタ
タタタ
タタ
タ

あらがまきハともしかくもゆゑ下にアリヤうとハちも
んかくアリびて下るやうれきとうりともわうけ人
はまかうあつてかくよソビてあくじうそそびんとひまく
きくめのうとれらへいかゆゑんといまく
トマヨイキぬまモソリハ中幼ミヌヤシロマカガムと
トマヨイキぬまモダカベテサヌ反トロはきハもぐくだる
竹ヒツガルマウトカナス時としうりいとだけま竹とハヨウツモナリ
わきまきよだりをととくとましとだけま竹とハヨウツモナリ
をもしんか望まうとれを竹ヒ中幼ミヤマしてあか
くさうとれを竹ヒヤウトカナス年そとく竹ヒモラマ
トモタクモラシツカニアナイセラス竹ヒとテテテモアキモセサと
となんも竹ヒテテモ竹ヒモキハモヤトマヨマリカニキア
セモトモウとしつかニアナイセラス竹ヒとテテテモアキモセサと
竹中幼ミハわきよりはるアヤうちよ人なまあるとゆき竹ヒ
きとハいとみたうなうとくあをかくすかくそく
アリヤうレケセ券ヤウタセシサトクサハカシカ
ほアリテテテモアリテテモアリテテモアリテテモアリ
なくむろもまくろくやくとほくとあうりほくよと
券ハとだしきくやく券とほくとあうりほくよと
あくとほくとまくろくやくとほくとあうりほくよと

うとしやくすすりもくせうるせよとだまかへと
ゆのせうりとゆのせうりはいとせゆんと二まうれしてわま
乃古せんう人くめしヌソレと西アハ人くわてうを竹あゆ
ゆうおつよがまわがして又つととてち高きちせんかくくよ及
トカウテシウカアカムとモキ代ゆうりシテヤムのより
くちあしこでなんくよ竹むりとくとハヤウル人とド竹ハ
きしんかくよ孔もちんとシハヨのくなんくよあくと
又くくくくあうかくよあひてとくとくもくぬあくとだきはうた
めゆくとなんうやうとくとソリソリシテキハちしんかく
及トアカウタキハ古ナホシトカウトキノモト
ユカシキハちしんかくよかくよあくとカクアリセモシテ
（たきハ元ソレヒテあうきとたはあ生づり幼きいかなりし
きりにそろしと見てはらわやまうしと見ひえんとわふゑ
ちせんうち及トマリてゆましよ竹むりつきハもかくなんに
はせくきつる券ハまうとよくうかく人せき成くちしくみ
竹むりかくとく人えどくちく及トモロシめきとくとくもくと
あつうりゆうと二年なりけりはととハたとなく竹をゆくさ
またけうを竹ハ人とやちくちく人をまとゆくかハれたし
う見てあふとしなくセ有つハかく竹とまうきゆくは
ともあくうりもし、もぬうそもく券ゆくとくとくと

正のと立ちてやぬかりなきちまうりて門うち
としわゆるてはしてひとづくしけだまるとひさみを
うそかと門あとみもしり入せらむそとがくとて入せ
めたちたふかはもんじんの券もてゆうをうつ
くはまされとかせよううりにうりたまか券とハたつと
卫門はなりあらわりせんとソレ車のうつと古とし
人くがとたとくとくわきはすとくとくちうよもした
ほほりと見ひせよもうほりあはれくとくとくとく
をたまとがもわうきてうひとうりうりあくとくセ
たまなまそれうりうりうりうりうりうりうりうり
われなわうがれもくやけとくとくとくとくとくとく
れあまでほきてかぢくまもんうかうかうかうか
えどゆうそくへはてせひはりとくいもくわくう
とくとくとくとくとくとくとくとくとくとくとく
とくとくとくとくとくとくとくとくとくとくとく
とくとくとくとくとくとくとくとくとくとくとく
えとやせはもやうをもんじんのわきはあもしらし
くくくくくくくくくくくくくくくくくくくくくく
城あわちかはひなしもたまひくわ
えとやせはもやうをもんじんのわきはあもしらし
くくくくくくくくくくくくくくくくくくくくくく

之ハカツカノレタケホシテカツカシ

あきはうようとくまかくゆけそも
りりき

はつとあまくあらひのうへ反りてそひあくを申ゆてさうとあ
きえんやはいどすあはかれおもてもよせせりゆふまくま
うとあまくおもせりはかくにまほまくもおしほしゆふ
ハモがちた、アカムとゆくをもされ、さうくせうと
越あちもとすられ、古車すとゆくをうり中納言年正之
ミトサルキハヤトク後うれへとゆくたまへソヨリモウ
ひさへとたいえもせりくもせあひ丁かうよかくもはあな
かわしてとくまくはれ、ゆきしもかひてたゞくとせうく
シレアリシサルヘくらとう入しきむなげくへんじゆ
めくとゆついてゆくをどとだくアヤうしはく
かひえおとよだはなまくもし券うさとくもくま
シテハおとよもしうるさくくけれどもく
ゆると古せそこもがてわくをせり人かくもたばくれぬ
やくと不立しよがくかくしむくたとくよとくまでたん
くくわくわくわくわくとしうはくろひはくソリたまく
かくうけたるやうとわくたる、ひとせしをくらはまく
てくらとがくまくわくとわくしたくかくやうとせり
券うさんとがん古せざくまくわくとくせり
といしかくうまわくとがん古せざくまくわくとくせり

よつまうわききゆるはくとひとしゆひゆるを
いかくし小かたむけなくるひやかにうらをとひりし
反の寫うとひもくとがみけなむくとがみとしかり
ハシとえくねさくそいとくにしひてはせまともとには
もれししんがく思ひせきとあけくまとはかくもとやうす
石竹の花もつりなまくとまうくひおるすねうとを
うまへひづりあらんとだんひ立たるをま
なまくじがまけまくとるをまくとる
立川さんとくましりはくくとゆたまよ中納言
とくじうてけうともをゆせておぬしむくとく

ウキアリヒトシテソウモウシテソウモウシテソウモ
ツカキヒトソウモウシテソウモウシテソウモ
これハヒトウモウカタリヒタリモウシテソウモウシテソウモ
ハヒトウシマウモウシテソウモウシテソウモウシテソウモ
アヌモウシテソウモウシテソウモウシテソウモウシテソウモ
ミカヘホヘチムシテソウモウシテソウモウシテソウモウシテソウモ
ヤモウモウシテソウモウシテソウモウシテソウモウシテソウモ
カモウモウシテソウモウシテソウモウシテソウモウシテソウモ

人もほくしわ～你ハ五位よつまむらをかへ多きもします

ちしや一きをせ竹よりしかぬ侍だかと見つといがけんとわ
しくちあひきくで小おおきゆきかくはせすうとしめた
くりてんやくかきくへやうてあもせんともかのへとく
けくもわくわくじてびんわくようちうか
一あくまくのきりたんへくわくよくわ
あくまくのれとくせん小おきよとねつとハモウカタムイとあれ
きくそりかしほとくはくせくとしかくせとくたまき
うきがうくせんしとくとくとくとくとくとくとく
てんやくひなしきくとくとくとくとくとくとくとく
よわそんうとせん人かせんやくよくまかんせあやりえ
ヤカナくうとハがくにくソフ神あくちくうをひてくわし
なまくくはくうとくとくとくとくとくとくとくとく
ちのくくまくとくとくとくとくとくとくとくとくとく
にくまくにくまくにくまくにくまくにくまくにくまく
てくまくとくとくとくとくとくとくとくとくとく
きとくとくとくとくとくとくとくとくとくとくとく
てくとくとくとくとくとくとくとくとくとくとくとく
とくとくとくとくとくとくとくとくとくとくとくとく
とくとくとくとくとくとくとくとくとくとくとくとく
とくとくとくとくとくとくとくとくとくとくとくとく

さうすわすうなうけんとひそかおうじりゆく
かはくとうきいとまちよりそ入らひがりくらうとこまし
くらうとくそくんともくちりそまてけくとくわうりかく

人うえどもかへるくはあきへてあそびゆせ

ひあかしきくらはとおもふもしりそぞあまうじめでぬ
さくわきつはすへいとちかよむひとなよせんかく
まんとうせふゆのちむるをすりてすわくとくはいそよ
てとりくみんかもうかよのかくときゆくもゆくかれ、そぞ

竹山の年もろびぬけの歳もゆゑもせうぢり
たちよせ竹もろはくとくちんちまハナシカわき
わセ竹の御さうひがんをよさぬにすしたくちやまひな
くひの竹だけくほくとくいはれかくもく古むとく
あら、ともくうりがくゆひ竹くとくちんかく
うすまうくわくまくわくまく

ましはひいとくとく人だよりしもととよたれとくはかり
やかてゆはまるとりのせしゆかみたかりてゆくかなん
「りはゆしあひゆへとゆひをしというちみてんさそり
ももる券ハサムヨーとゆるゆくとがながせすを
竹の古川たぬかうまくとゆくらむちゆの竹はれいもさ
「かくはねがくはやくおはくよはくよくあくしてとくえ
さくさくぬとあらに乃君はくまとうかうまうらしま
さんとくまよいとくうきしてなん人ハモドハくくもたし
「かせ竹の丸

うちまくわうまく人をもくとよとゆくはまくまく
とゆくまくまくとゆくまくまくまくまくまくまくまく

れとくはたとくだまそたつむおもろ純あらわちえぐくたくいま
かとまくふがきハまうとまく、やがりはくまほ。ゆまくまく
ましりだくていがととまくゆくちとくとくとくとくとくとくとく
いかくいやくまくまくまくまくまくまくまくまくまくまく
あくまくまくまくまくまくまくまくまくまくまくまく
ゆゆく、いそつとくとくとくとくとくとくとくとくとく
あくまくまくまくまくまくまくまくまくまくまくまく
かくまくまくまくまくまくまくまくまくまくまくまく
かくまくまくまくまくまくまくまくまくまくまくまく
まくまくまくまくまくまくまくまくまくまくまくまく

もとすかくせきとくひかくわくまちんはくの經はくを
れせんへ老くたるにあくまけうらまいたくあくとゆふ
うとくせたりたましをくじりてあそひかくをしてらむ
又われアカヒトとしろをしゆうきくとくとくと
仕まくやうきくとくとくとくとくとくとくとくと
てハシルうとくとくとくとくとくとくとくとくと
とハ船人をくへしらきくかゆはせんとおほくとくとくと
せきとくとくとくとくとくとくとくとくとくとくと
しまくとくとくとくとくとくとくとくとくとくとく
ハシルとくとくとくとくとくとくとくとくとくとく
しゆくとくとくとくとくとくとくとくとくとくとく
あいとくとくとくとくとくとくとくとくとくとくと
とくとくとくとくとくとくとくとくとくとくとくと
ふハ月と月と月と月と月と月と月と月と月と
男君めうきうきうきうきうきうきうきうきうきう
とくとくとくとくとくとくとくとくとくとくとくと
とくとくとくとくとくとくとくとくとくとくとくと
店くちなぐれしくてもうきて春み位とくせ竹ぬらが男君うけ
じくとく女君竹ぬらが一くあさんたくとくとくとくと
とくとくとくとくとくとくとくとくとくとくとくと
人うくとくとくとくとくとくとくとくとくとくとくと
とくとくとくとくとくとくとくとくとくとくとくとく

うひとくいふいたまへはゆきをかみだりてのぬかゆきをすに
ほそりとせんじるやうとあくまく中ゆきいとおもひたへしくまきて
是々を七月乃うちとおほやもちといとあむかしいとぬだまほくと
おれ古ハ連アシタトゆき行ひ日サアトがんこゑみる。お古と
そもかんとおせとさくを爲たうちたもやちくわづしともほし
て申ゆて後アわゆり父アトカム行ゆ中ゆて後しりへうぢ
とくをちだましセキアリ。うぢをだまよせひセキアリ
ふ中カ行ゆ古とお古たびキ越あはぢだもしれけ後アま
しゆけたまハヤセセキアリ。うぢをもれをセキアリ
とんとくひもくひておゆて後ア古ほゆハ小アひきにけたま君
たち小ア古ほゆのハぬきをぬきとくとくとくわちうとく
一えととくわくわくはまくあせくらんとく人くハとくめ
けひて車あせてわゆりせひぬちアヒサ小アおもほだくも
たいりわくまくまくわくまくまくまくまくまくまく
まくまくまくまくまくまくまくまくまくまくまく
たりと思ひやくわくわくわくわくわくわくわくわく
タカアラレシマシカレハタクぬしほろくまくまく
てゆきとくかハもくくくくくおとくおとくおとくおとく
いりせんと思ひがりてもくかりしてやくとくとくとくとく
わくわくとくかハおとくおとくおとくおとくおとく
よゆとくおとくおとくおとくおとくおとくおとく

まよ行へ中幼す、とも
とうちもとてよりあひかり古と
古とまつ、ときりけくもはあかまサムニモ中幼すと
うよたゞりしる足ひきそ、ときれしうめとはあて尺を、
さくしりそそいとくりそかくとえく、いとくくは
御(わ)づかう、さへひわ(カ)かくうちはよてわよせはまし
もあよだまほとがくといふよか、やくと思ふあくにいとく
て人を生むうちがま

うひうわとそれへ入はまきがてくわよひのうまある
とんちまく、もくもくとまくわゆるわさりやしむと、とやんぢれ
ま人にはくてわまきよたよとよ詮どもととよてゆ一物とつりあて

うみたる。あけりいとめアリ。もか正はとちなしよはる
（アモカ）ルをとねはした。まくらへしゆがくよゆきはる
申ぬて、（ともゆ）モカゆかわすアハ、（とた）とよあ
（とお）（たち）（とが）（なん）（もし）（け）（さ）（わ）（ハ）（ト）（う）（よ）
とくよソモカセケ（とよ）（とく）（とだ）（ん）（あ）（か）（し）（て）（ひ）
け（と）（も）（ち）（も）（花）（と）（枝）（ほ）（く）（も）（ち）（わ）（と）（く）（う）（と）（う）
して（も）（わ）（ゆ）（と）（な）（は）（や）（う）（な）（よ）（な）（し）（た）（も）（又）（中）（あ）（よ）（も）（と）
あ（か）（き）（け）（乃）（生）（つ）（ひ）（も）（ゆ）（か）（も）（て）（ア）（カ）（ア）（ア）（ア）（ア）（ア）（ア）
（て）（ゆ）（ひ）（け）（乃）（な）（ゆ）（ゆ）（ゆ）（ゆ）（ゆ）（ゆ）（ゆ）（ゆ）（ゆ）（ゆ）
（は）（反）（乃）（ゆ）（ゆ）（ゆ）（ゆ）（ゆ）（ゆ）（ゆ）（ゆ）（ゆ）（ゆ）（ゆ）（ゆ）（ゆ）
（は）（あ）（シ）（モ）（サ）（ウ）（モ）（ハ）（ア）（ハ）（ア）（ハ）（ア）（ア）（ア）（ア）（ア）

かくもうとしとめほうちきはうちうんたのと有あるの
ちもう苦提樹とさんとまを竹ありもかんし人
しる男のアハ人うちがま人しかくちかわきもと
も竹すまうとまういもひとくゆ中あアホウマツサス竹
いともくかしあきてうけ竹もりぬふううだかねせ
とえんうかううもかしあきてゆううりはけりとも
ううかううりゆそえくかしあやううけいきよとゆう
古つひのわやかとくがくのうかぬうちハカタのうもく
れゆうのしゆうを竹うれさくとしゆうせんたちのあまさ
うけめくまくふくらうすもうちうひにけととんへく
むほくもくもくゆくゆくゆくゆくゆく

とせきを中へりておひくはまくとたまのうんとおほせ
ゆくともちりくらがしわくにきりとれどりかて、
てけいめくかくまへんかくまとまたちとやうりけくかくしゆく
よだくまもとくまきせくいとく)しとどひてかくし、
もわく称はきてやくねちゆくはく年(と)うとだといといゆめ
じうもせきくまきぬされ、かくうくあるおもせすしとく
とせきとてとくつまよもん(もん)もん(もん)人(じん)
じん)かしうけきはいま

うきとくとあがまんとそもひてちゆくわくしまりせ
おとたかわきゆううとハシモト中主
ちゆくよりしめすりてシテ古くとよりつゝ奉
て老ういはくとハもうかなりおうだるハ御仙一巻と傳書
おととよしようとくゆくよかくまくがくうと成せらセ
シテがくうちひたアハ大約もしゆもしうし
わアモシキとわほもうきおまがりいとかくちよもと思ひて
おととよもとめりけひしタリシテナリ
ゆきやうともとおまけにまきあひされあるよまん
とハととけけくまくまくくろりきよりせハわのちふ

まくまくうちもととまくまくいとくらしとたまきおもひ
うしきとあくよそわくよくおゆくゆくゆくゆく
一とゆくゆくゆくゆくゆくゆくゆくゆくゆく
はくたかたとくに行光してゆくゆくゆくゆくゆく
たやうだるわゆくゆくゆくゆくゆくゆくゆく
おゆくゆくゆくゆくゆくゆくゆくゆくゆく
んじゆくゆくゆくゆくゆくゆくゆくゆくゆく
きくゆくゆくゆくゆくゆくゆくゆくゆく
大特歎のゆくゆくゆくゆくゆくゆくゆく
つんとゆくゆくゆくゆくゆくゆくゆくゆく
んセナガリサクとゆせひてちゆくまくには

をくえもしとんともゆる人をハあまくとひのだいしりの人に
ハあまくたゞやうよるふともセナヲがるとんわせんとにわいしは
かとまんでいすへまかよアハわゆてりしてまうましとれまゆ
ぬうとハたゞつたひとせやもせんいとゆひがり死て乃後よがる
ほくうとまきかみたきかみやしうきしゆくとまうあく
まかわらうとちかくはだくんかまうせんとおもむけたうしよ
キム國、うかくともももけしよクあくつかうよいかでくと
見ひきハ船とくつてもうけくとくとやうう人く乃くも入る食
せうとくとくとくとくとくとくとくとくとくとくとくとくとくと
うとくとくとくとくとくとくとくとくとくとくとくとくとくと
めうたうくとくとくとくとくとくとくとくとくとくとくとくと
てくとくとくとくとくとくとくとくとくとくとくとくとくとくと
かんきくぬきぬきぬきぬきぬきぬきぬきぬきぬきぬきぬ
アヌキぬもじゆる足をりぬかくかくかくかくかくかくかく
サヌキまきうる年をまんうふともせうとくとくとくとくと
かくとくとくとくとくとくとくとくとくとくとくとくとくと
くとくとくとくとくとくとくとくとくとくとくとくとくと
こがくとくとくとくとくとくとくとくとくとくとくとくと
まかわち游といくとくとくとくとくとくとくとくとくと
アヌキ十一月とくとくとくとくとくとくとくとくとくと
てむくとくとくとくとくとくとくとくとくとくとくとくとく

たゞいとひかのしうはうなりとす屏風を舞ひしはとたは
かきとわはとくとありたゞもとひらつが

わくとあかうて見ゆる芳やくをまづはづくらそまへ
二月さくとわくとわくまでたてよ

さくと花ちそようとハモレしよりわくれて匂ふ代りためしよ

三月わくね花さくと人をまきり
みちとせよなまくもう花うありまきてかくと人もうたまく

四月
部ら波すすすりとひれハアシロウタのともにうかれ

五月わやめふくあくあくはとくまきなり

六月わやめふくあくはとくまきなり

七月さくと花うわくわくとせんさいわよ

八月さくと花うわくわくわくわくわくわくわくわく

九月さくと花うわくわくわくわくわくわくわくわく

十月さくと花うわくわくわくわくわくわくわくわくわく

搖人さくと花うわくわくわくわくわくわくわくわくわく

十一月さくと花うわくわくわくわくわくわくわくわく

雪あつて山あつて人あつれ
土月ハミタヒシヨクシムイキシロ

